

祖父の野菜の秘密

みなさんは毎日野菜を食べていますか。私の家では祖父の手作り野菜が毎日食卓に並びます。祖父の野菜はどれもみずみずしくて、とても美味しいです。私は祖父にどうやって、らそんなに美味しい野菜ができるのか聞いてみました。すると、

「そうだな、肥料の影響もあるとは思いますが、やっぱり大事なものは水だな。水は植物を成長させてくれるからな。」

と教えてくれました。理科の授業で、植物について学習したことはありましたが、美味しさの秘密を知りたくなつて、野菜の成長について調べてみました。

すると、野菜の成長には十七種類の養分が必要であることが分かりました。そのうち水素や酸素、炭素などは大気中から摂取します。ほかに、リン酸、カリ、カルシウムやマグ

五條市立五條東中学校

二年

森田 舞依華

ネシウムといったものも必要です。これらは土に含まれています。足りなくなるものは祖父の言っていた「肥料」を土に混ぜることで補うのです。特にミネラル（酸素、炭素、水素、窒素以外の必須となる元素）が美味しい野菜に成長するかどうかのポイントとなるらしいです。そして、ミネラルを含む養分のほとんどは水に溶け、根を通して吸収されます。そして全体へと運ばれるのです。

では、野菜にあげる水はどのようなものか、いいのでしょうか。

まず、雨水です。雨水は大気中の窒素（植物の成長には欠かせない）を含んでいるため、基本的に良いとされています。

そして、その雨水が直接畑に降るのではなく、山からゆっくり時間をかけて流れてきたならばどうでしょうか。不純物をろ過しなが

ら、なおかつ地中の養分を十分に含み、こんなと流れてくる山の天然水は野菜作りにおいて適しているように思います。野菜や果物の有名な産地の多くは美しい山や川が近くにあることが多いです。

実際私の家の近くには山があり、森があり、吉野川が流れています。祖父の畑も、山の天然水をふんだんに使っているので最高の野菜なのだと思えます。祖父の野菜の美味しさの秘密はきれいな水にあったのかと私は思いました。

私は祖父の美味しい野菜をずっと食べたいと思います。それに、吉野川のきれいな水も大切にしたいです。しかし、近年川の汚染が問題となつていきます。吉野川においても下流にいけばいくほど、きれいではなくなります。水質汚染のおよそ半分は家庭から出る排水が原因です。たとえば、食べ残しの汁や食器を洗った台所の水、洗濯で使った水、トイレで流す水です。だからまずは、この生活排水を減らす努力をしなければいけません。私の家で実践していることは、てんぷら油の処理です。てんぷら油大さじ一杯が川に流れ

たととして、魚が住める水質にするにはなんとお風呂桶で約十六杯もの水が必要になります。だから油を捨てる時には新聞紙に吸わせて燃えるゴミに捨てたり、再利用したりするようにしていきます。他にもちよつとした工夫で水質汚染は防げるに違いありません。

水は野菜を美味しく食べたい私たち人間だけではなく、地球に住むすべての生物に必要不可欠なものです。だから水を必ず守らなければなりません。大切にしていきましょう。